

簡単組立 高耐久サイクルハウス 2台用

組立説明書 ①

このたびは弊社製品をお買いあげいただき、まことにありがとうございました。本製品は組立式です。
必ず組立手順、組立上の注意事項などの指示に従って組立を行ってください。また、ご使用前に「安全上のご注意」をよく読みいただき正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

安全上のご注意

必ずお守りください

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し説明しています。

⚠ 警告…人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容	
⚠ 注意…人が傷害を負う可能性及び物質損害のみの発生が想定される内容	
⚠ 警告	● 本品の設置にはベースにU字アンカーを打ち込んで地面に固定する必要があります。固定しない設置は、強風時などに倒壊や吹き飛ばされる事故の原因となります。設置場所がコンクリート等固い場合は、振動ドリルで下穴を開けて固定する必要があります。※コンクリート用のアンカーやサドルバンドは別途ご用意ください。 ● 本品を建物の屋上やベランダなど高所に設置しないでください。強風で吹き飛ばされ、人が死亡または重傷を負ったり、周囲の建物に損害を与える重大な事故の原因となります。 ● 本品を風の強い場所（ビル風、川風、海風）に設置しないでください。吹き飛ばされる事故の原因となります。 ● 積雪や屋根からの落雪がある場所では、雪の重みで倒壊や破損の恐れがありますので設置をお避けください。 ● 傾斜地や凸凹のある場所、軟弱な地盤では安定せず、確実に固定できないので設置しないでください。 ● 焼却炉など火のそばに設置しないでください。火災の原因になります。 ● 天候の悪い日は、組み立て作業・補修作業を行わないでください。思わぬ事故の原因になります。 ● 本来の用途以外に使用しないでください。特に子供の遊び場などには絶対に使用しないでください。 ● 本品のそばや内部で火気（コンロ・石油ストーブ・バーナー・溶接機など）を使用しないでください。 ● 危険物（可燃物・劇物・薬物・毒物・ガソリン・灯油・シンナー・塗料など）を保管しないでください。
⚠ 注意	● 組み立ては組立説明書をよくお読みの上、正しく行ってください。誤った組み立ては、故障・破損、思わぬ事故やケガの原因となることがあります。また本来の機能や強度が期待できなくなることがあります。 ● 組み立ての際は必ず保護手袋を着用してください。 ● 構造材のパイプに物を掛けたり、ぶらさがるなど余計な力・重量を掛けないでください。 ● 前幕は自転車を出し入れするとき以外は、必ず閉じてください。風の影響で自転車が傷つく原因となります。 ● 強風の予報が出ている場合は、事前にすべての幕を取り外してください。そのままにしておくと、風の影響で倒壊やパイプ・幕が破損する原因となります。 ● 雪が積もったまま、絶対に内部に入らないでください。雪が積もった場合は、随時雪下ろし作業をしてください。 ● 定期的にアンカーや幕の張り具合、ゴムバンドのゆるみを点検してください。 ● 幕は有毒ガスが発生しますので絶対に燃やさないでください。 ● 気温の寒暖差が大きい日は、幕の内側で結露が発生する場合がありますので、ご注意ください。

お手入れ方法

● 著しい汚れは、からぶき、または水に浸した柔らかい布をかたくしぼって汚れをふき取ってください。
みがき粉、アルカリ洗剤、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使用しないでください。変色の原因になります。
化学ぞうきんを使うときは、その注意書きに従ってください。

外形寸法：（約）幅980mm×奥行1860mm×高さ1580mm
材質：フレーム／スチール（塗装）
幕／ポリエチレン、PVC
ジョイント／スチール
アンカー／スチール

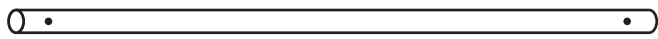
JAN：4920501044272

※製品の仕様および外観は、改良などの理由で予告なく変更することがあります。 株式会社 コメリ 〒950-1492 新潟県新潟市南区清水4501-1 Tel.025-371-4805 Made in China

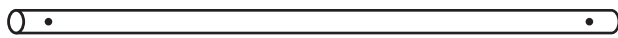
パーツリスト

※組立前に下記の部品が揃っているか、ご確認ください。

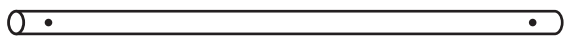
①側面パイプ×10



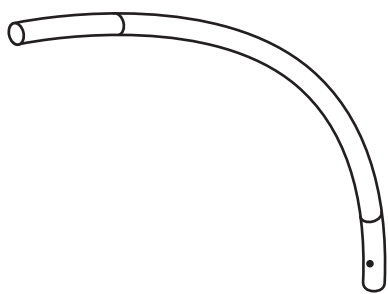
②縦パイプ×6



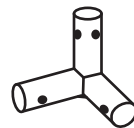
③出入口側パイプ×2



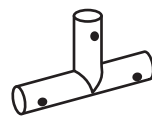
④アーチ用パイプ×6



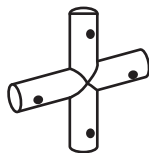
⑤ベース角用ジョイント×4



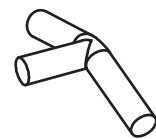
⑥T型ジョイント×6



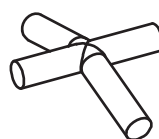
⑦十字型ジョイント×2



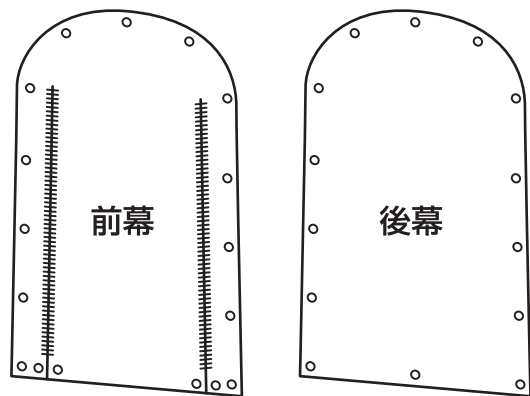
⑧アーチ用T型ジョイント×2



⑨アーチ用十字型ジョイント×1



⑩前後幕×各1



※つや無し面が外側です。

⑫U字アンカー×4



⑬ゴムバンド(短)×26



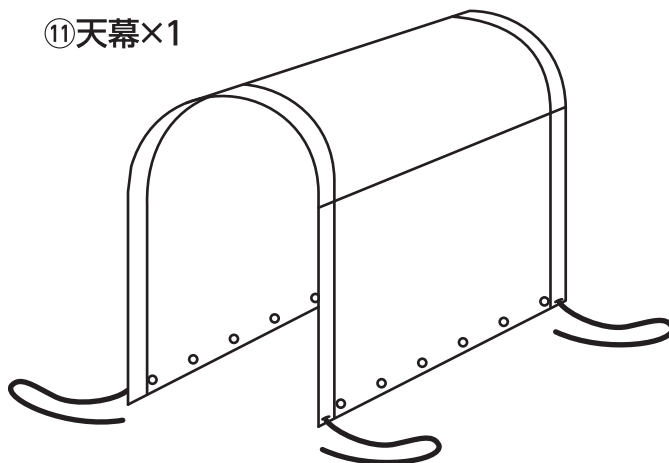
⑭ゴムバンド(長)×15



⑮リング×4



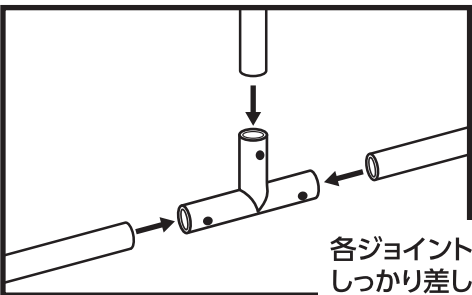
⑪天幕×1



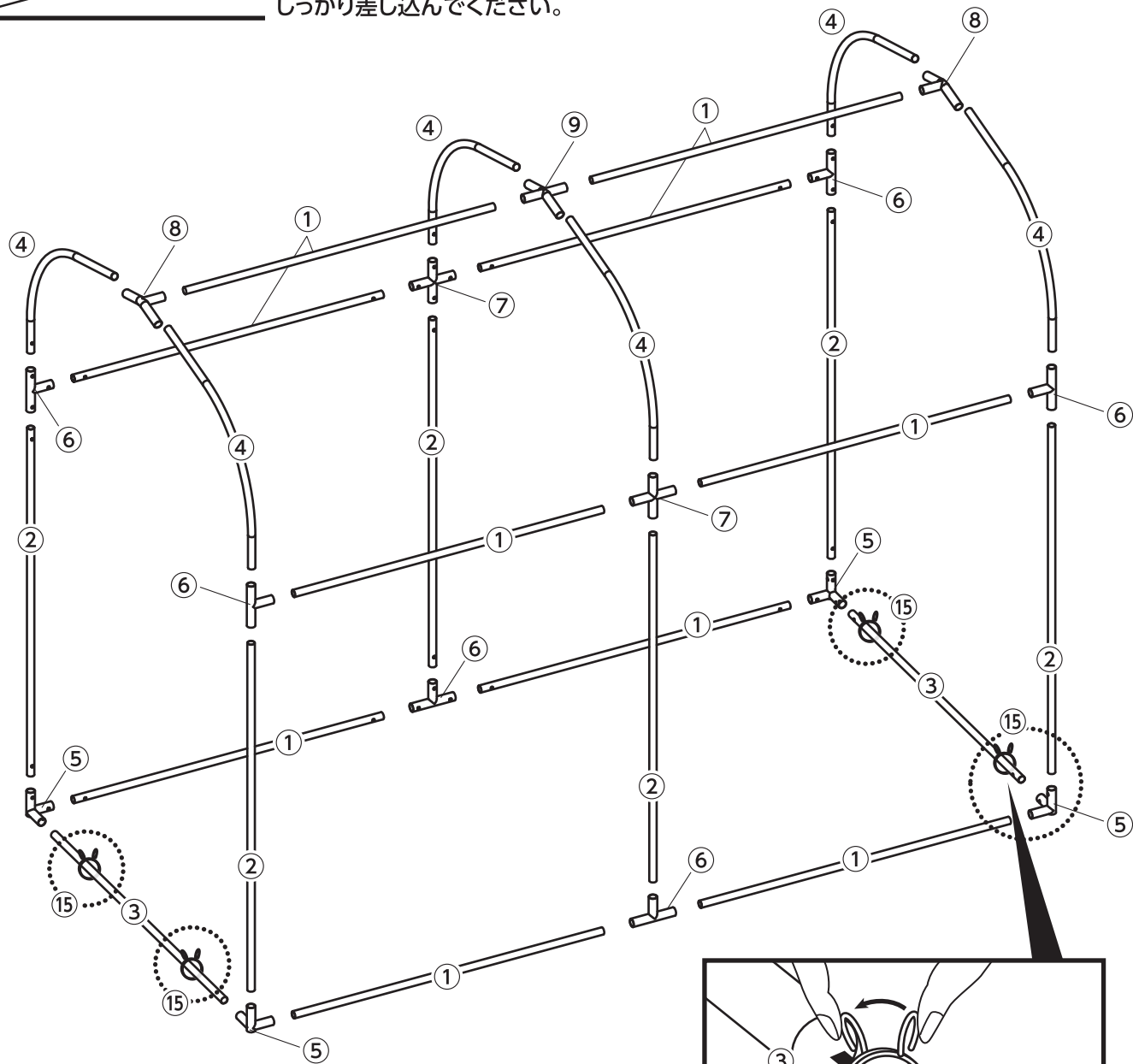
簡単組立 高耐久サイクルハウス 2台用 組立説明書 ②

組立方 ※平らな場所で組み立ててください。

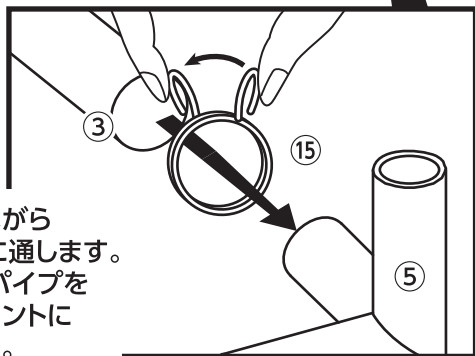
1 図のようにパイプを組み合わせ、各ジョイントに差し込みます。



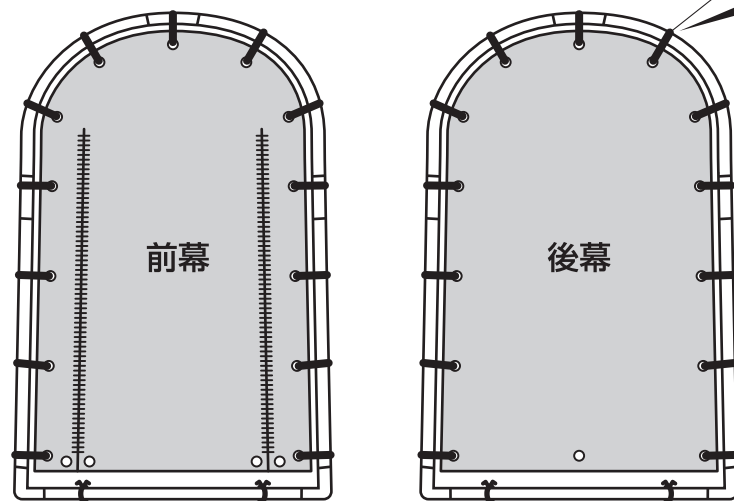
各ジョイントの根元まで
しっかり差し込んでください。



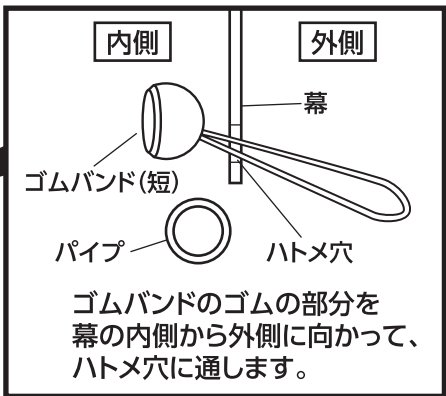
⑮リングをつまみながら
③出入口側パイプに通します。
その後③出入口側パイプを
⑤ベース角用ジョイントに
差し込んでください。



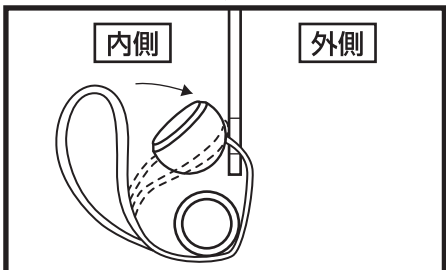
2 組み立てたフレームの前後に⑩前後幕を
⑬ゴムバンド(短)で結び止めます。



※つや無し面が外側です。

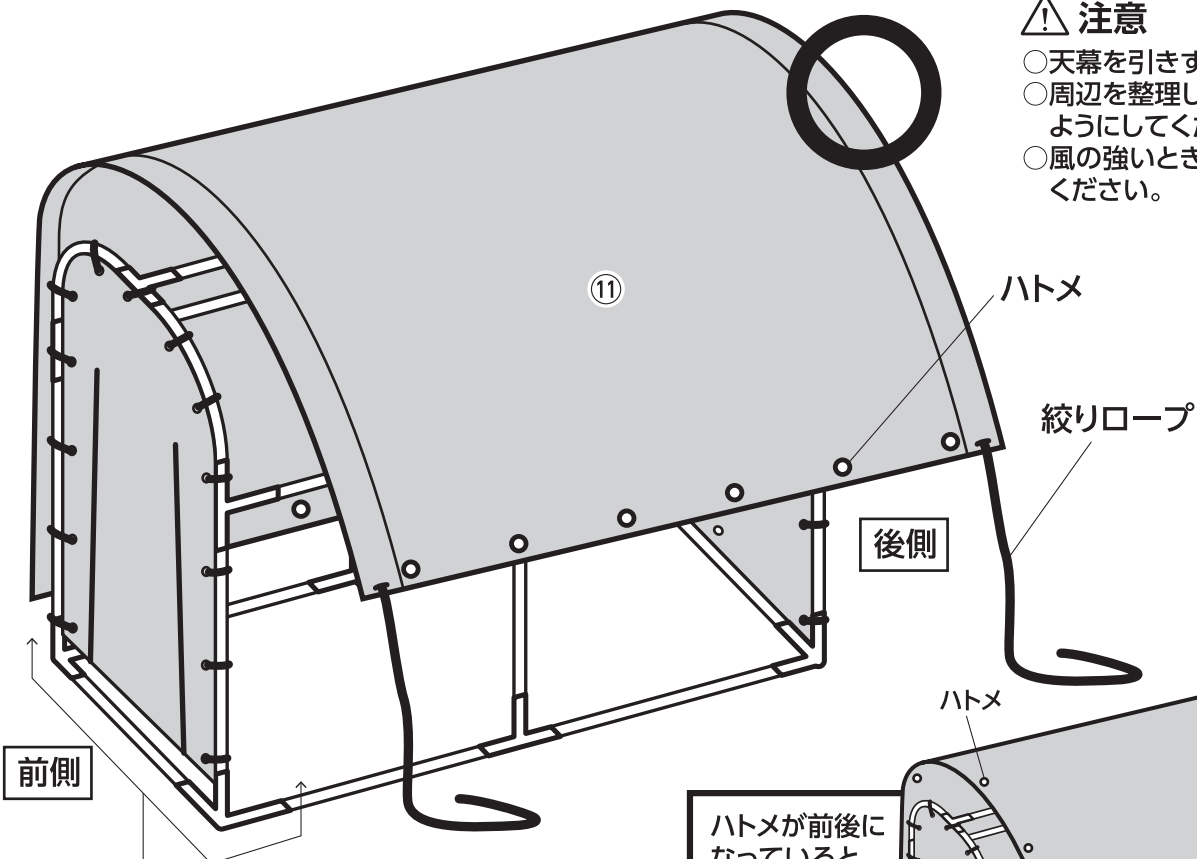


ゴムバンドのゴムの部分を
幕の内側から外側に向かって、
ハトメ穴に通します。



ゴムをパイプの下から巻いて
玉の部分に引っ掛けます。
パイプの下に物を置いて浮かせ
ると取り付けやすくなります。

3 ⑪天幕を広げ、フレームの前から見てハトメが側面にくるようにかぶせします。

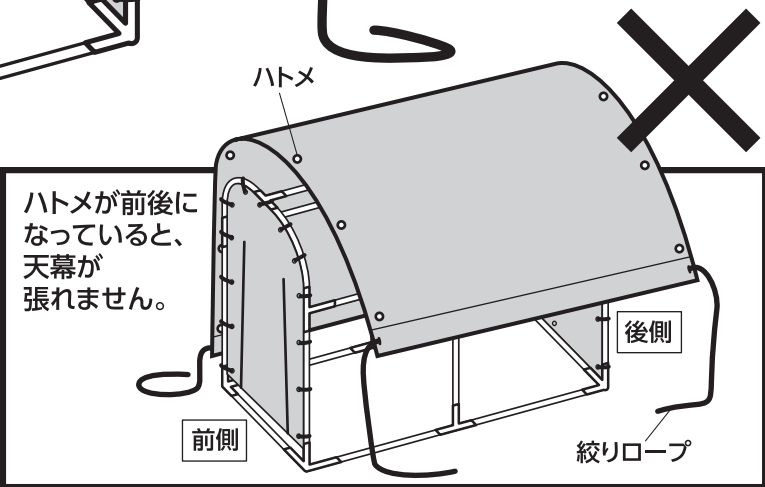


注意

- 天幕を引きずらないでください。
- 周辺を整理して、キズがつかないようにしてください。
- 風の強いときは作業しないでください。

サイクルハウス内の温度上昇を防止するため、
下部にすきまがあります。両側のすきまの幅が
均等になるよう、交互に結びながら進んで
ください。

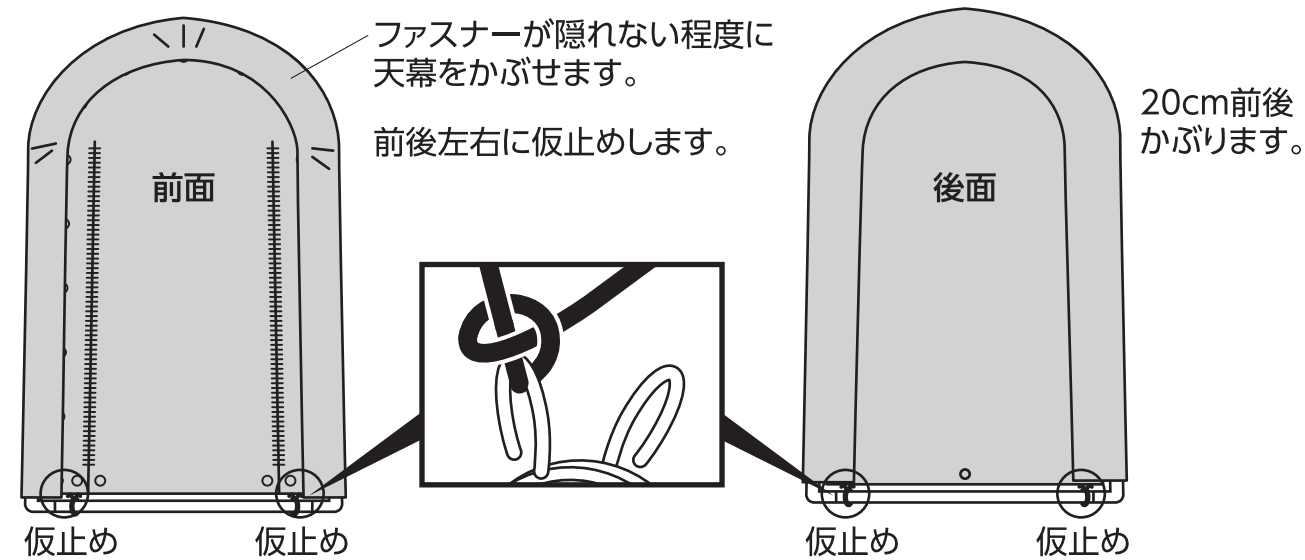
※つや無し面が外側です。



ハトメが前後に
なっていると、
天幕が
張れません。

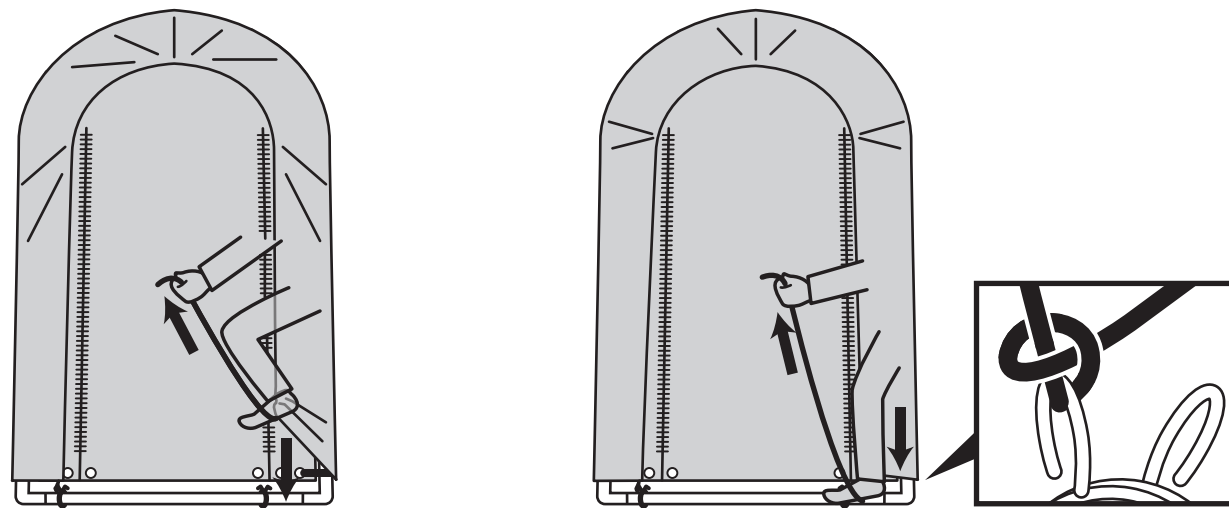
簡単組立 高耐久サイクルハウス 2台用 組立説明書 ③

4 天幕の位置を確認し、絞りロープを⑮リングの片側だけに通して仮止めします。

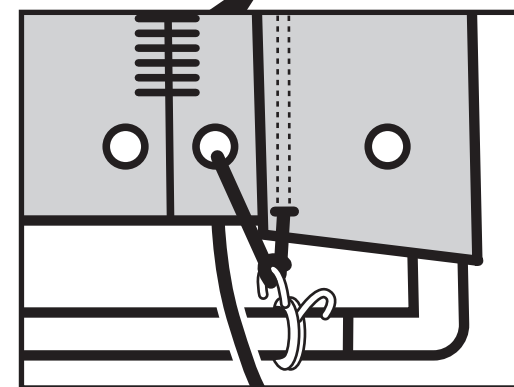


5 天幕を絞り、固定します。

- (1) 片方のリングから絞りロープをはずし、引き上げます。
- (2) 絞りロープの先をしっかりと持ち、足で踏み込み絞ります。何度か繰り返して幕のたるみがなくなったら、リングにしっかりと結びます。(リングの片方のみ)

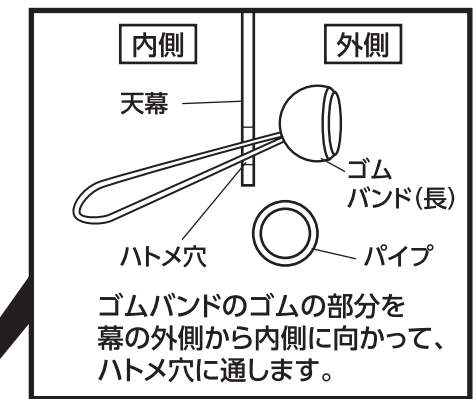
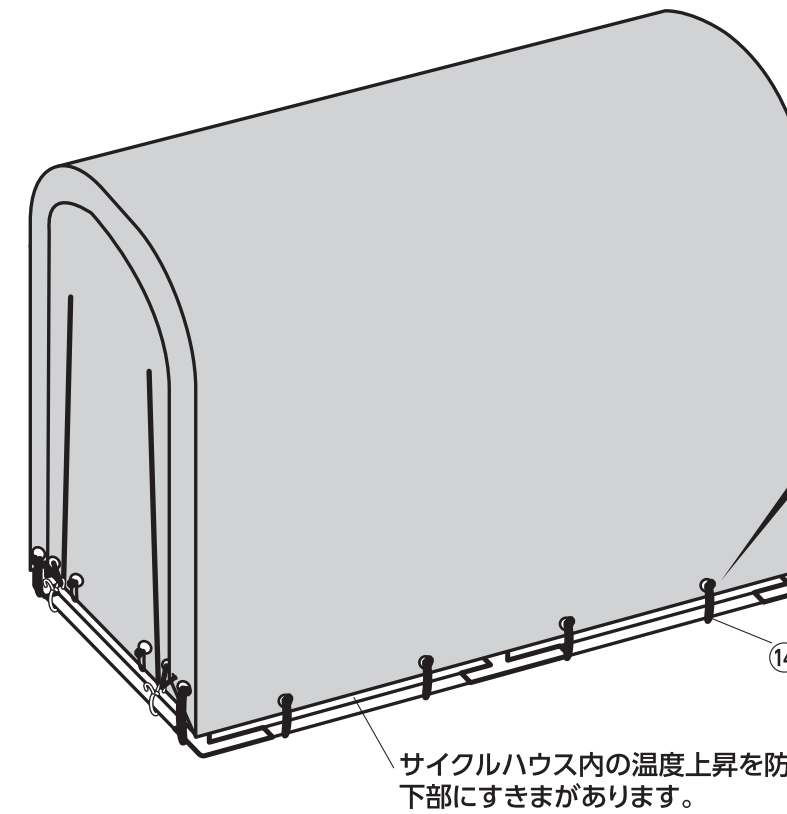


- (3) もう片方の仮止めした絞りロープをしっかりと止め直します。(リングの片方のみ)



※前面のみ、前幕の裾部分のハトメも絞りロープで結び止めます。

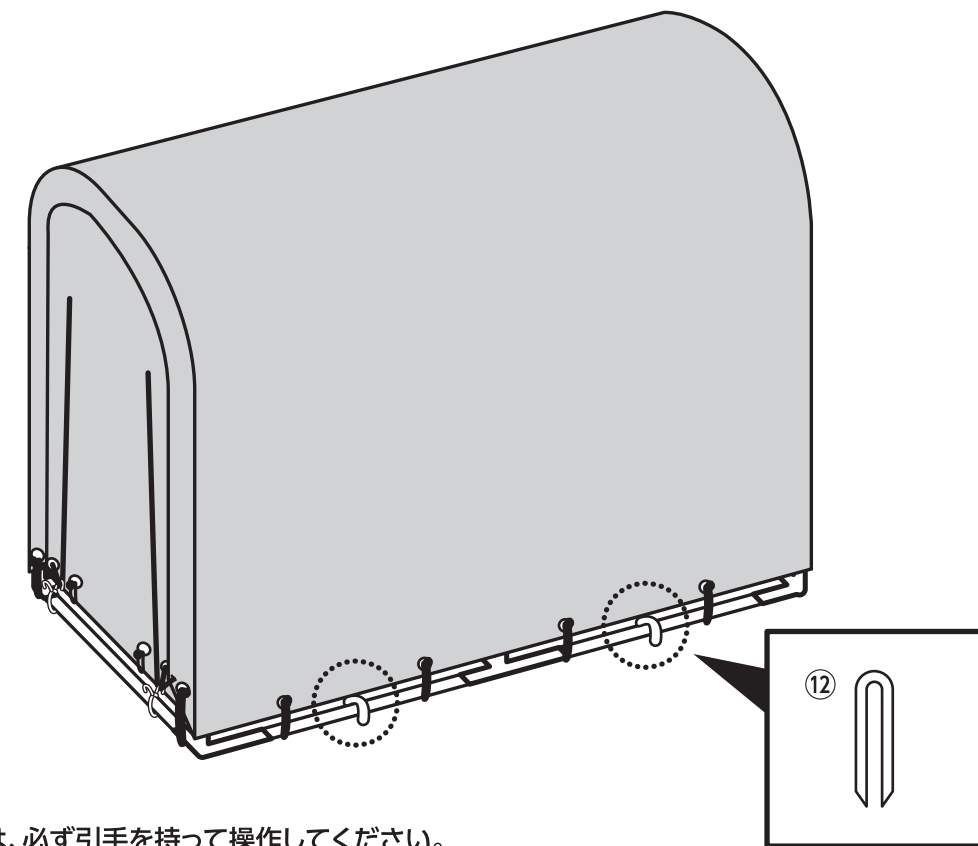
6 天幕の側面のハトメを⑭ゴムバンド(長)で結び止めます。



7 ⑫U字アンカーを打ち込んで完成です。

付属のU字アンカーは土面用です。コンクリート面への設置には市販のサドルバンドとアンカー等を使い、固定をしてご使用ください。

完成図



⚠ 注意

ファスナーの開閉時は、必ず引手を持って操作してください。引手を持たずに引っ張ると、ファスナーが故障する原因になります。

簡単組立 高耐久サイクルハウス3台用

組立説明書 ①

このたびは弊社製品をお買いあげいただき、まことにありがとうございました。本製品は組立式です。
必ず組立手順、組立上の注意事項などの指示に従って組立を行ってください。また、ご使用前に「安全上のご注意」をよく読みいただき正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

安全上のご注意

必ずお守りください

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し説明しています。

⚠ 警告…人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
⚠ 注意…人が傷害を負う可能性及び物質損害のみの発生が想定される内容

⚠ 警告	● 本品の設置にはベースにU字アンカーを打ち込んで地面に固定する必要があります。固定しない設置は、強風時などに倒壊や吹き飛ばされる事故の原因となります。設置場所がコンクリート等固い場合は、振動ドリルで下穴を開けて固定する必要があります。※コンクリート用のアンカーやサドルバンドは別途ご用意ください。 ● 本品を建物の屋上やベランダなど高所に設置しないでください。強風で吹き飛ばされ、人が死亡または重傷を負ったり、周囲の建物に損害を与える重大な事故の原因となります。 ● 本品を風の強い場所（ビル風、川風、海風）に設置しないでください。吹き飛ばされる事故の原因となります。 ● 積雪や屋根からの落雪がある場所では、雪の重みで倒壊や破損の恐れがありますので設置をお避けください。 ● 傾斜地や凸凹のある場所、軟弱な地盤では安定せず、確実に固定できないので設置しないでください。 ● 焼却炉など火のそばに設置しないでください。火災の原因になります。 ● 天候の悪い日は、組み立て作業・補修作業を行わないでください。思わぬ事故の原因になります。 ● 本来の用途以外に使用しないでください。特に子供の遊び場などには絶対に使用しないでください。 ● 本品のそばや内部で火気（コンロ・石油ストーブ・バーナー・溶接機など）を使用しないでください。 ● 危険物（可燃物・劇物・薬物・毒物・ガソリン・灯油・シンナー・塗料など）を保管しないでください。
⚠ 注意	● 組み立ては組立説明書をよくお読みの上、正しく行ってください。誤った組み立ては、故障・破損、思わぬ事故やケガの原因となることがあります。また本来の機能や強度が期待できなくなることがあります。 ● 組み立ての際は必ず保護手袋を着用してください。 ● 構造材のパイプに物を掛けたり、ぶらさがるなど余計な力・重量を掛けないでください。 ● 前幕は自転車を出し入れするとき以外は、必ず閉じてください。風の影響で自転車が傷つく原因となります。 ● 強風の予報が出ている場合は、事前にすべての幕を取り外してください。そのままにしておくと、風の影響で倒壊やパイプ・幕が破損する原因となります。 ● 雪が積もったまま、絶対に内部に入らないでください。雪が積もった場合は、随時雪下ろし作業をしてください。 ● 定期的にアンカーや幕の張り具合、ゴムバンドのゆるみを点検してください。 ● 幕は有毒ガスが発生しますので絶対に燃やさないでください。 ● 気温の寒暖差が大きい日は、幕の内側で結露が発生する場合がありますので、ご注意ください。

お手入れ方法

● 著しい汚れは、からぶき、または水に浸した柔らかい布をかたくしぼって汚れをふき取ってください。
みがき粉、アルカリ洗剤、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使用しないでください。変色の原因になります。
化学ぞうきんを使うときは、その注意書きに従ってください。

外形寸法：（約）幅1560mm×奥行2200mm×高さ1630mm
材質：フレーム／スチール（塗装）
幕／ポリエチレン、PVC
ジョイント／スチール
アンカー／スチール

JAN：4920501044289

※製品の仕様および外観は、改良などの理由で予告なく変更することがあります。 株式会社 コメリ 〒950-1492 新潟県新潟市南区清水4501-1 Tel.025-371-4805 Made in China

パーツリスト

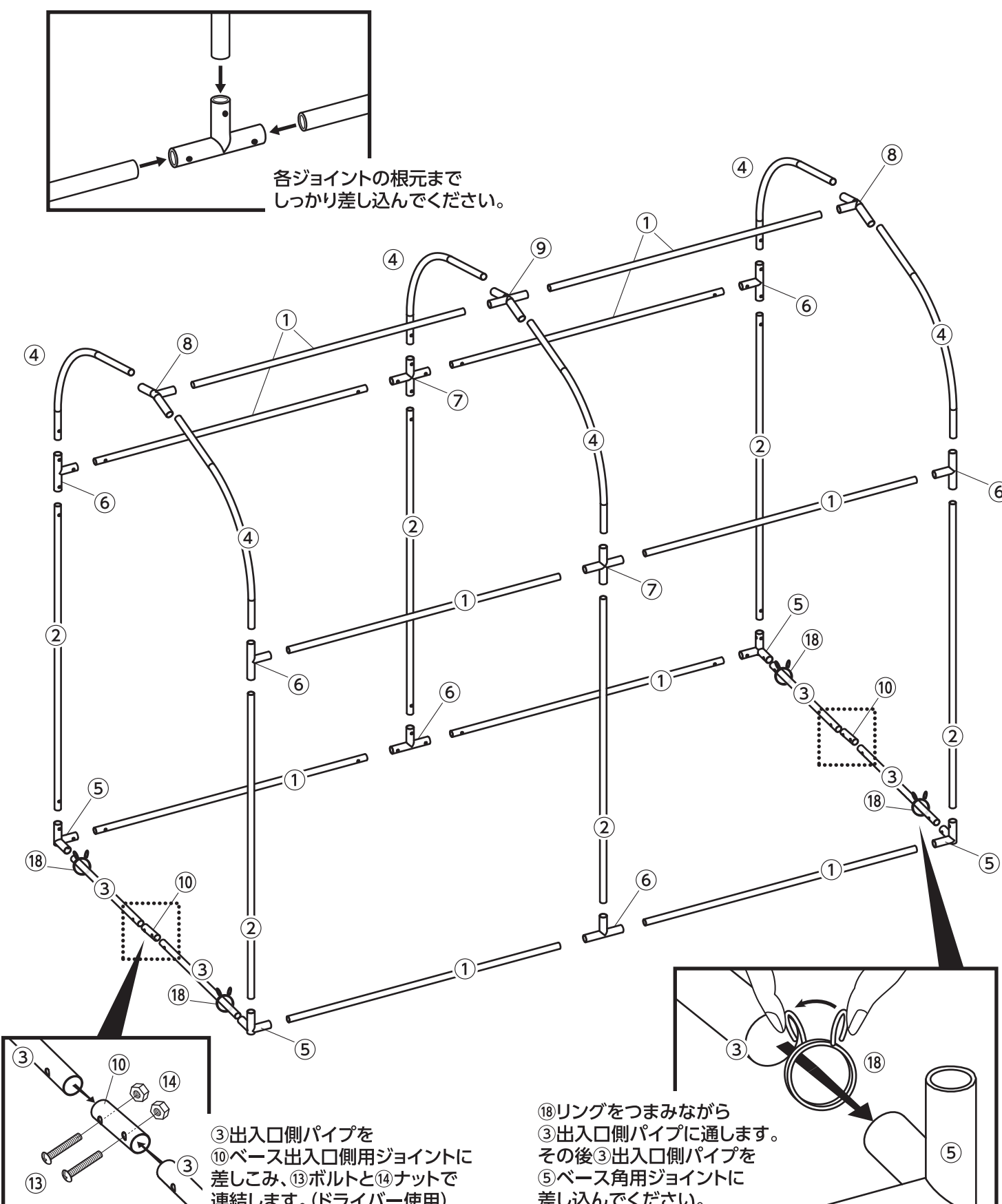
※組立前に下記の部品が揃っているか、ご確認ください。

①側面パイプ×10	⑤ベース角用ジョイント×4	⑥T型ジョイント×6
②縦パイプ×6	⑦十字型ジョイント×2	⑧アーチ用T型ジョイント×2
③出入口側パイプ×4	⑨アーチ用十字型ジョイント×1	⑩ベース出入口側用ジョイント×2
④アーチ用パイプ×6	⑪前後幕×各1	⑬ボルト×4
⑪前後幕×各1	※つや無し面が外側です。	⑭ナット×4
⑫天幕×1	⑮U字アンカー×4	⑯ゴムバンド(短)×30
⑮U字アンカー×4	⑰ゴムバンド(長)×20	⑱リング×4

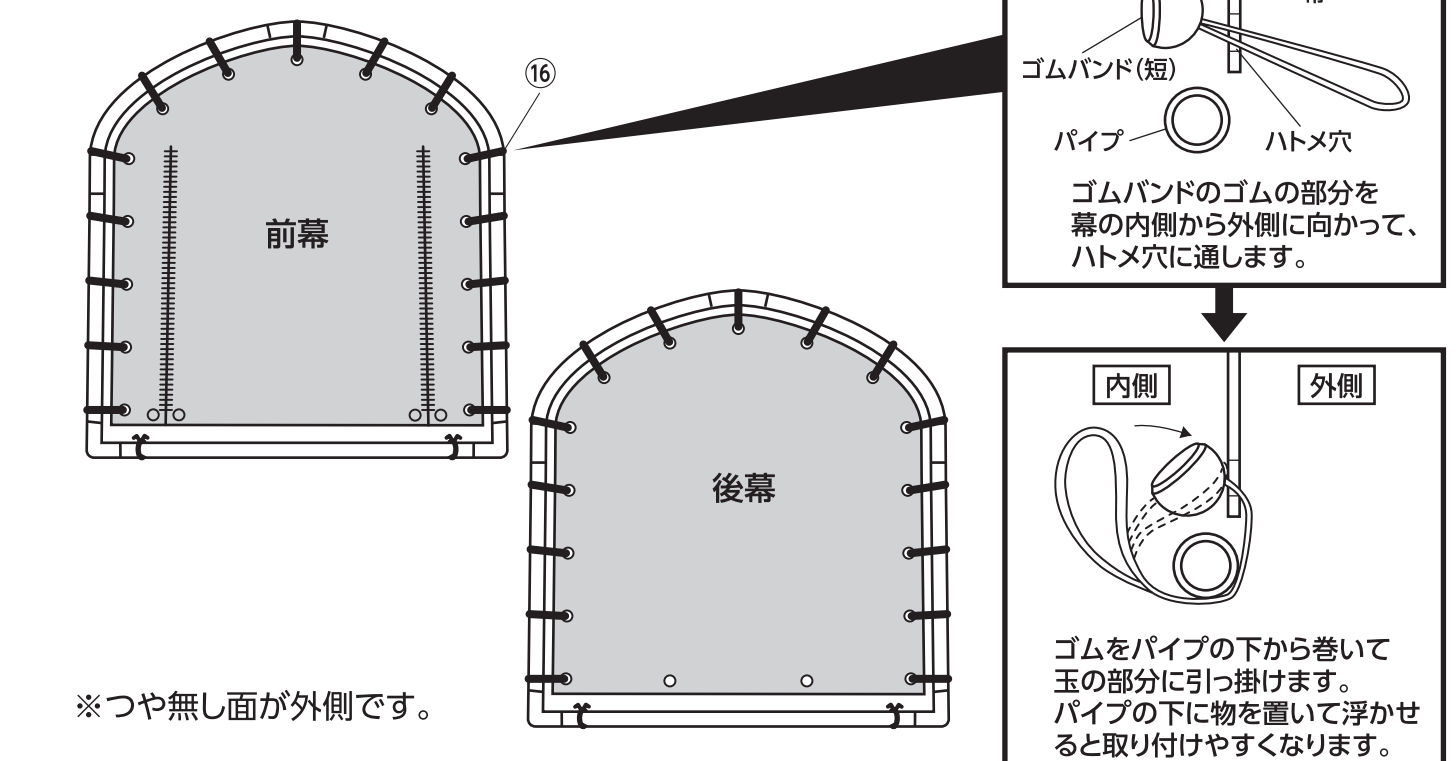
簡単組立 高耐久サイクルハウス3台用 組立説明書 ②

組立方 ※⊕ドライバーをご用意ください。
※平らな場所で組み立ててください。

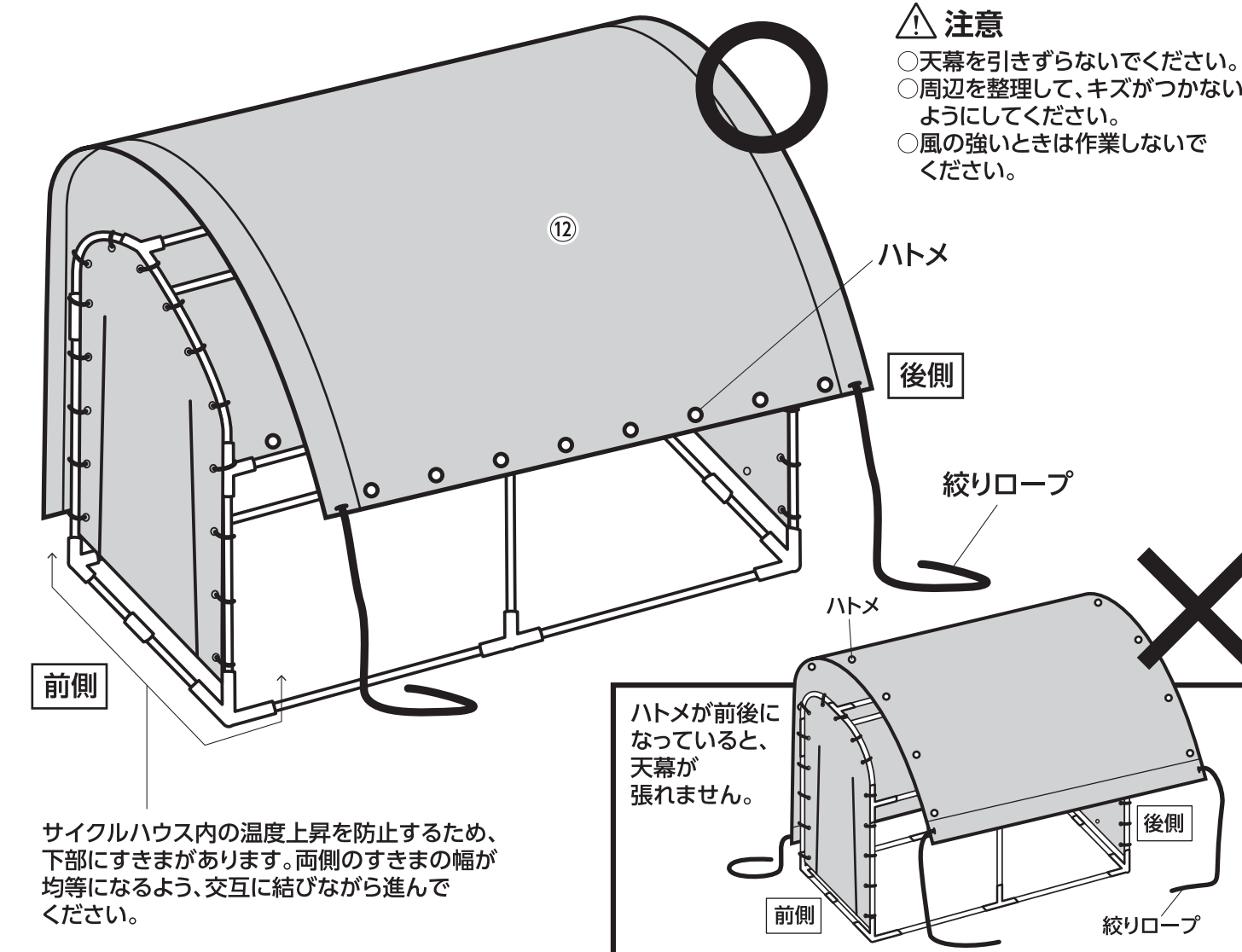
1 図のようにパイプを組み合わせ、各ジョイントに差し込みます。



2 組み立てたフレームの前後に⑪前後幕を
⑯ゴムバンド(短)で結び止めます。

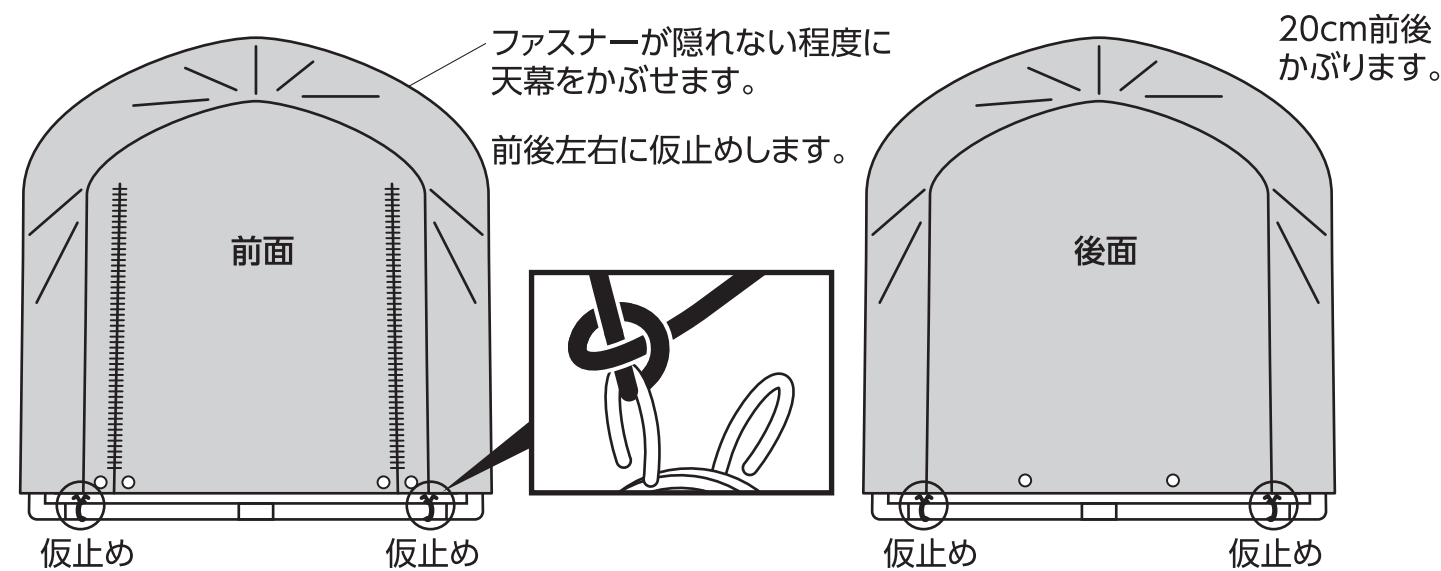


3 ⑫天幕を広げ、フレームの前から見てハトメが側面にくるようにかぶせます。



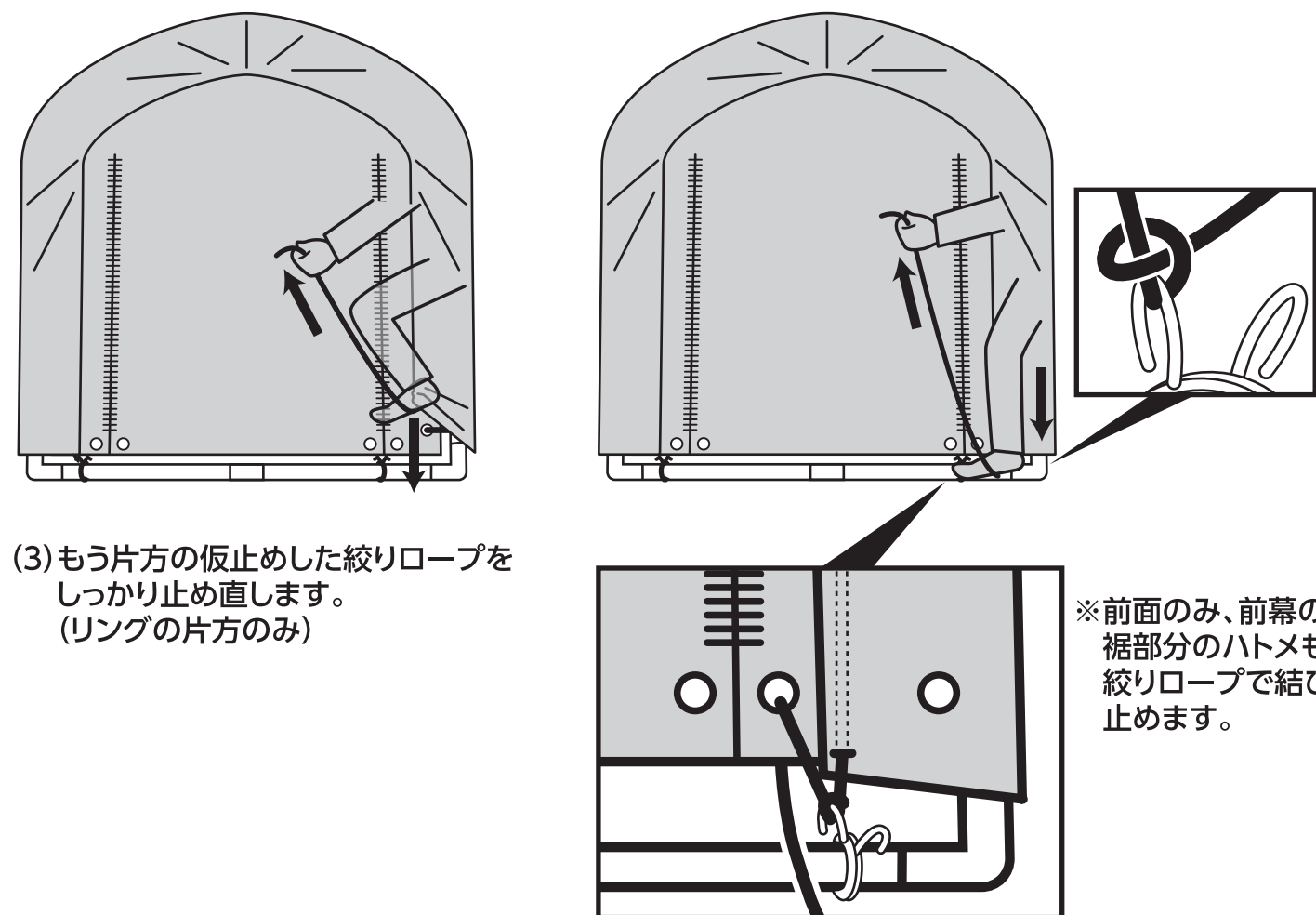
簡単組立 高耐久サイクルハウス3台用 組立説明書 ③

4 天幕の位置を確認し、絞りロープを⑮リングの片側だけに通して仮止めします。

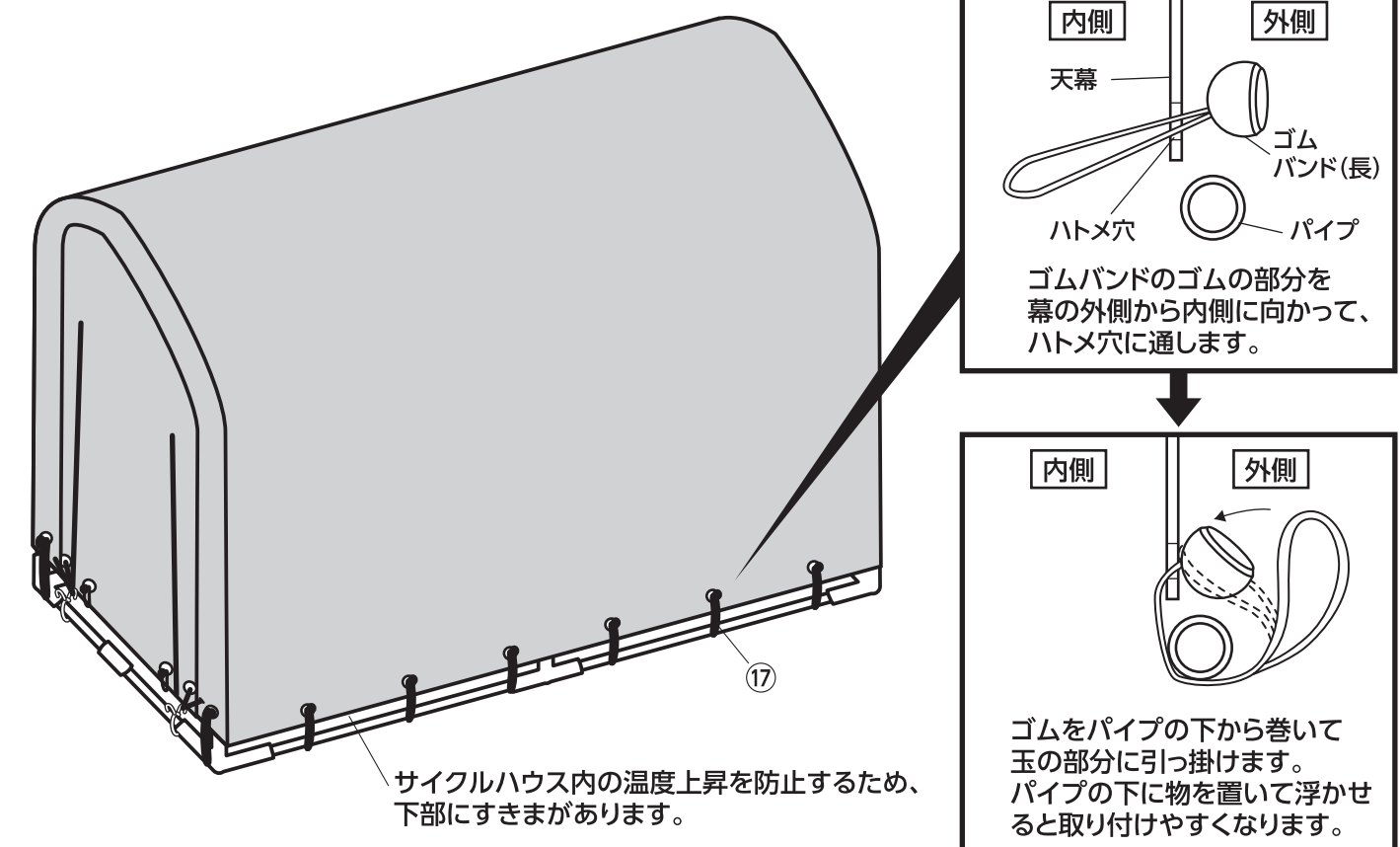


5 天幕を絞り、固定します。

- (1) 片方のリングから絞りロープをはずし、引き上げます。
- (2) 絞りロープの先をしっかりと持ち、足で踏み込み絞ります。何度か繰り返して幕のたるみがなくなったら、リングにしっかりと結びます。(リングの片方のみ)



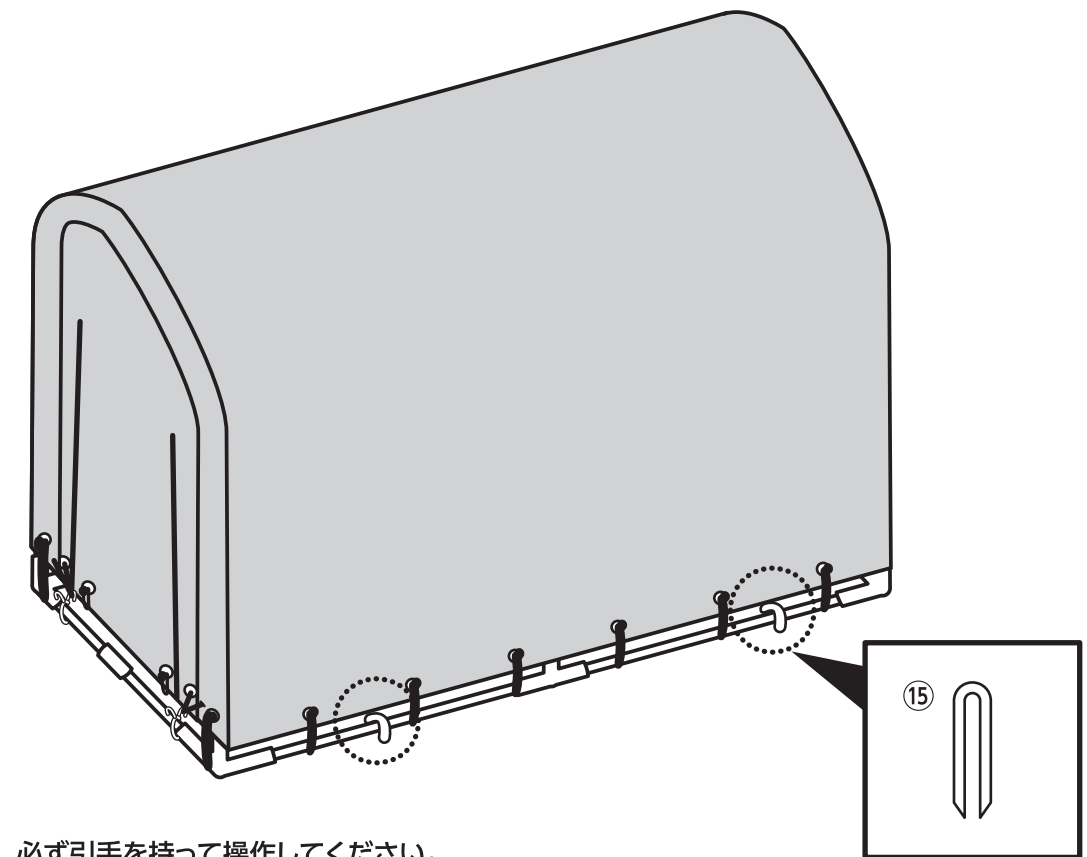
6 天幕の側面のハトメを⑮ゴムバンド(長)で結び止めます。



7 ⑮U字アンカーを打ち込んで完成です。

付属のU字アンカーは土面用です。コンクリート面への設置には市販のサドルバンドとアンカー等を使い、固定してご使用ください。

完成図



⚠ 注意

ファスナーの開閉時は、必ず引手を持って操作してください。引手を持たずに引っ張ると、ファスナーが故障する原因になります。